

評価のポイント

CL-IV. 看護実践能力：ケアする力

〔17-4〕重症心身障害児を巡るコーディネート

1. 重症心身障害児と家族が在宅ケア移行するために必要な調整とは？

①こどもと家族の生活を（再）評価し、（再）構築するための調整

生活のスケジュールや家族内の役割をイメージできるよう支援する／こどもと家族が望む生活を送るためにどのような環境や支援があれば良いか考えられるよう支援する／家族内の役割調整、医療・社会福祉サービスや助成制度、福祉手当、福祉用具等を活用した生活構築を支援する。 など

②こどもの病状や生活スタイルに合わせた環境調整

こどもの身体機能や成長発達に合わせた生活環境が整えられるよう支援する／こどもと家族の生活のスケジュールに合わせた生活環境が整えられるよう支援する／自宅内での生活動線や安全に配慮した生活用品や医療機器の設置、移動手段を考えられるよう支援する。災害時の対応も含まれるとなおよい／自宅の周囲や地域の環境を把握できるように支援する。 など

③さまざまな職種が連携するための調整

院内外の支援者同士がつながり、情報や認識、役割の共有し、窓口を明確化するためのカンファレンスなどを検討する／こどもと家族に必要なチームづくりを行う。在宅療養において窓口となる機関や職種を明確にし、連携が取れるチームづくりができるよう支援する。 など

2. 多職種連携における看護師の役割とは？

- ・家族の意向を把握し、代弁する。
- ・関係する職種や部門、機関を把握し、役割を理解する。
- ・職種や部門、機関が円滑に連携できるよう、つなぎ役となる。
- ・こどもと家族が望む生活や発達段階におけるチームづくりを考える。
- ・それぞれの専門性が発揮でき、情報が持ち寄れるようにカンファレンス等の場を計画し、情報共有を行う。
- ・施設内外のチームを把握し、支援が繋がるよう調整する。
- ・連携する相手が求める情報や役割を踏まえて、情報提供する。
- ・状況に応じてチームリーダーやマネジメントする役割となる。 など